

未来のまちを考えよう みんなの Uooooz!! vol.2

お話を聞いたのは…



永田 慎太郎（ながた しんたろう）さん

一般財団法人 魚津市施設管理公社 事務局 総務管理課。
魚津総合公園の管理やイベント企画などを実施している。

半世紀に一度のビッグチャンス！
地域の総合力で大輪の華を咲かせよう

3代目魚津水族館やミラー
ジュラントが完成してから40年
余りが過ぎました。今では全
国の水族館で当たり前になっ
ている「アクリル水中トンネル」
を日本で初めて導入したもの、
最新技術によってつくり上
げた水中トンネルを体験しよ
うと、当時は入りきれないほど
の観光客が全国から訪れ、富
山県を代表する観光施設とな
りました。

現在も地域のみなさんに親し
まれていきます。
しかし、それらの施設も年月
が経つにつれて建物などの老
朽化が進んでいます。魚津市や
地域の発展のため、魚津総合
公園の絵を描いた50年前と同
じように、大きな方向性を導
き出さなければならぬ今は、
まさに半世紀に一度のビッグ
チャンス！
これからの地域のシンボルを
どのようにつくり上げていくの
か。未来のため、地域のために、
私たち魚津市民も真剣に考え、
進めていかなければならないと
感じています。

学生時代と変わらないレトロな佇まいの経田駅。
“地域の足”として、これからも
大切にしていきたい思い出の場所です。



Uooooz!! 寺口ともゆき 県政報告 2024 Winter vol.2

新年明けましておめでとうござ
います。皆様におかれまして
は、穏やかに新しい年をお迎え
のこととお慶び申し上げます。
また、昨年の元旦に発生した能
登半島地震によって被害を受け、
今なおたいへんなご苦労のなか
で生活されている皆様に、心よ
りお見舞い申し上げます。
地震や豪雨といった激甚化す
る災害を振り返り、これまで注
力してきた「教育」や「水産業」
の分野に加えて、災害への備えと
しての防災や強靱化について、
「まちづくり」の視点から進めて
いく必要性を強く感じています。
こうした経緯もあって、今号の
県政報告では、新川地域選出の
同僚県議との座談会を実施しま
した（中面）。紙幅の関係上すべ
ては掲載できませんでしたが、ゼ
ヒウェブサイトも合わせてご一読
いただければ幸いです。
本年も、山積する政治課題に
真正面から向き合い、一歩ずつ全
力で取り組んでまいります。引
き続き、皆様のご指導をよろし
くお願いいたします。

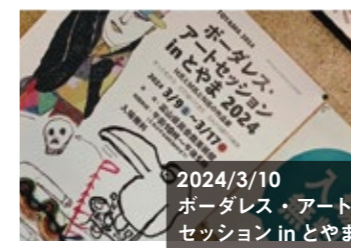


日々の活動をお届け ともゆきがゆく！



2024/1/27
教育の未来を考える
プロジェクトチーム

すべての県立高校を回り、高校再編や各
校の特色などについて意見交換を行った。



2024/3/10
ボーダレス・アート
セッション in とやま

障がいを抱えながらもアートに取り組む3
人の作家さんの作品&ストーリーを鑑賞。



2024/3/17
七尾市での
ボランティア

令和6年能登半島地震 災害ボランティア
として、がれきの運び出しなどを行った。



2024/5/18
よっしゃ来い!!
CHOUROKU まつり

キレイのあるダンスはもちろん、屋台や
BEER PARK など、2024 年も大賑わい!



2024/5/19
とやま森の祭典

豊かな未来の森をイメージしながら、優
良無花粉スギ「立山 森の輝き」を植樹。



2024/5/22
北陸新幹線建設促進大会

東京・帝国ホテルにて。北陸新幹線の早
期全線開通を求める大会に参加。

Tomostagram
魚津・新川の
魅力や情報を発信！
terra_0331



寺口 智之 てらぐちともゆき

1978年 富山県魚津市生まれ 富山県立魚津高等学校 明治学院大学経済学部 卒業
大学卒業後、写真スタジオ勤務を経てカメラマンとして活動。2011年の東日本大震災を機に魚津に
Uターン。魚津商工会議所に8年間勤務し、「魚津まつり」などのイベントや外郭団体事務
を担当する。2020年に退所し、魚津市議会議員として活動。2023年、富山県議会議員に初当選。

SNSも
日々更新中!



teraguchitomoyuki2020

terra_0331

OFFICIAL WEBSITE <https://teraguchi.jp/>



県議会議員として2年目を迎えた
令和6年上半期の定例会では、2月
に13問、6月に12問の質問を行い
ました。日頃から注力している「教
育」や「水産業」に加えて、震災か
らの復旧・復興も大きな課題。議会
質問の中から7つを、本人の振り返り
コメントとともにご紹介します！



2. 県立高校再編の方針

Q 人口減少が進むなか、生徒の学習意欲を高めるため特色ある取り組みを進めることが求められている。偏差値が進路先の判断材料となっている現状を変えていくべきと考えるが、所見を問う。

A 荻布教育長：近年、中学校においては、成績だけではなく、高校卒業後の進路や自分の特技・特性を踏まえて進路選択するよう指導がされてきている。今後は、普通科の特色化、魅力化についてさらに検討を進め、生徒のさまざまな可能性を引き出す教育の充実に一層努めていく。

富山の未来を決める重要事項。
子どもたちのために、ときには尖った
考え方も取り入れていくべきでは？



1. 教育現場の諸課題

Q 教員の不足により、職場環境の悪化や教育の質の低下が懸念される。教員の確保やさらなる働き方改革について、今後どう取り組んでいくのか。

A 荻布教育長：働き方改革や業務改善を含めた若手教員によるワーキンググループの設置、部活動の地域移行を進めるための指導者の掘り起こしや人材バンクシステムの構築にも取り組んでいる。今後とも、国への定数措置の要望や教員の働き方改革の推進など、教員確保の取り組みを総合的に進めていきたい。

教員が選ばれる職業になるように、
抜本的な改革を！

3. 水産業における不漁対策

Q 富山県水産業振興計画（仮称）骨子案が示されたところだが、現場の意見を十分に吸い上げ実効性のある計画にしていく必要があると考えるが、所見を問う。

A 津田農林水産部長：骨子案には資源調査の強化、厳格な資源管理、スマート水産業の推進等のほか、コールドチェーンの構築や流通形態の多様化に対する支援などを盛り込むとともに、KPIなどの指標を設けた。今後はパブリックコメントを実施し、年内にも新たな計画を策定したいと考えている。

水産振興も、私の
“ライフワーク”のひとつです。

4. 地域防災とデジタル化

Q 防災マップについて、デジタル化に加え、現在地での津波危険度や避難場所の情報を得られるよう機能の充実を図っていくべきと考えるが、所見を問う。

A 新田知事：令和6年4月には「防災デジタルマップ」をリリースし、データや機能を順次追加することとしている。新年度、デジタル防災マップにセンサーデータや地図データ等を追加するが、その際にはマップ利用者の位置情報の追加についても、検討・作業を進めていきたい。



防災デジタルマップの
使い勝手はまだまだ。
改良 & 性能アップに期待！

6. 震災からの漁業の復旧・復興

Q 能登半島地震後の海底状況の調査について、国など関係機関と連携して調査結果の共有を図るなど、速やかな情報提供に努めていくべきと考えるが、所見を問う。

A 津田農林水産部長：今後も国の漁場復旧予算も活用して、海底環境の変化を把握するための底質調査も実施する。また調査結果を国や大学等の研究機関とも互いに情報共有し、富山県漁場等機能回復協議会などにおいて、漁業者に有用な情報を提供していきたい。

ベニズワイガニやシロエビの
不漁も深刻。安心して操業できる
環境づくりを進めます。



5. 観光振興・地域活性化

Q 北陸応援割「とやま応援キャンペーン」について、販売時に混乱が生じ、早期売り切れの苦情が相次いだ。その要因と対策について所見を問う。

A 竹内地方創生局長：（要因は）富山を観光に訪れることで応援しようという全国の方の思いが、制度設計時の想定を上回ったためと考えている。その結果、ご負担をおかけしたことは残念に思っている。たくさんの需要や応援したいという気持ちがあることは確認できたので、第2弾を実施できないか国に要望していきたい。

観光は地域経済の起爆剤。
さらなる盛り上がり期待!!



7. 保育現場の人員不足への対応

Q 県では保育事務員の配置に努めているが、現場保育士の負担軽減のためには、保育以外の仕事をサポートする「保育支援者」配置への支援を検討すべきと考えるが、所見を問う。

A 松井こども家庭支援監：「保育支援者」の配置への支援については、一部の市町村では国の補助事業を活用して実施しており、また県と市町村との連携事業にしてはどうかといったご意見もいただいている。今後もより効果的な取り組みについて検討したい。

保育士が保育に集中できるよう、
早急な対策を求めます。

地域で活動する県議3人が語る 新川みらい会議



県議会議員って、そもそもどんな仕事？

寺口 今回は特別企画として、同じ新川エリアで活動する県議お2人に集まっていたいただきました。まずは、議員を志したきっかけからお話してもらえと。

谷村 大学卒業後、地元に戻ってくる理由のひとつに、自分が生まれ育ったまちに貢献したいという思いがありました。ずっとPTAや体育協会といったボランティア活動もしてきたので、その延長線上に議員という役割があったというか。

鍋嶋 私は農業を仕事にしているので、田んぼにいれば知った顔がたくさん。そんな人たちから「お前やってみないか」と声をかけてもらって、入善町議に手をあげたのがきっかけでした。

寺口 私も先輩議員の代替わりのタイミングで、商工会議所時代の経験を活かしたまちづくりをしていきたいと、市議会議員に立候補しました。活動を続けるうちに、もう少し魚津市全体に関わる仕事があったと考えているようになったんです。

谷村 自分も市議を1期務めるなかで、市議のままではどうしても実現できない政策や事業があると感じるようになりました。正直、市議になったばかりの頃は、「県議会議員って何をやってるのかな？」なんて思っていましたけど（笑）。

寺口 市議会議員は身近だし、国会議員はテレビでも目にする。それに比べると、県議会議員の仕事って、わかりにくいですよ。魚津の場合、市議は17人いるけれど県議は2人なので、とにかくどこからでも声がかかる。市議時代の仕事をさらに濃密にした感じというか……。

鍋嶋 そうですね。寺口さんだって、前は経田地区の代表だったけれど、今は魚津市の代表。私の場合も、入善町のひとつの村の代表だったのが町の代表になったわけで、全地区の行事やイベントに呼ばれるようになりました。

谷村 活動する範囲はもちろん、連携する範囲も広がりますよね。選挙区内の住民の声を、市議会議員と一緒に県に提言することもあれば、市と連携して県や国に要望することもあれば。

鍋嶋 以前は町議として入善町の行政に対して物申していたけれど、今度は町から「こういう事業をやりたいので、一緒に県に要望に行ってくれ」と言われる立場になりました。

谷村 国会議員と連携して国の予算を富山県に引っ張ってくるのも重要な役割のひとつ。そのためには自分の選挙区の課題を、県を通じて国に上げる……（続く）



続きはWEBで!

https://teraguchi.jp/niikawamiraikaigi/